

日本語の進歩が実感できる簡単な評価の方法を

11月2日

◇11/2 までに、読む、聞く、書く、話すの中から各自が自分で決めた分野についてのルーブリック評価とその説明を3枚程度のスライドにまとめ、提出してもらうことにしていた。

今回は1/7の報告会に向け、それぞれがスライドをもとに説明している動画を録画するということになっていたので、説明も要点をおさえ、短い時間内で説明することができた。1名欠席者は、事前に説明動画のデータを提出済み。

- ・岩井（書く力について 作文）  
取扱い説明書を後日、提出の予定で、ビデオも撮り直すかも。
- ・岩佐（聞く力について）  
読み聞かせを通して
- ・宮崎（書く力について 意見文）  
中学生から高校生対象のルーブリック
- ・井原（話す力 発表）  
高等部対象。聞き手に分かりやすく伝えるように
- ・岡部（音読）  
学習指導要領を参考に作成。
- ・雨宮（話す力）  
リテリング

※この後は、今日録画した動画の編集作業となる。

※全員の作成したルーブリック評価で共通していることは、児童生徒と共有し、自分の強みや弱みが把握でき、今、出来ていること、これから何を目指していけばいいかが分かるものにする。

※観点やレベルの数が揃っていないが、その方が、他の先生方に、様式は柔軟に、使いやすいように、実効性があるものに作り変えていいのだととらえてもらえる。

※1月7日の発表を聞いた後で、他の先生が使ってみたいと思った時にフォームがここから取り出せることをお知らせし、また使用した感想等や、また、ルーブリック以外の評価方法として、こういうのを使っていますというような、いいアイデアの逆輸入をお願いするアナウンスをしたい。